

放送大学通信

on air

オン・エア

no. 84

発行日 平成18年12月10日

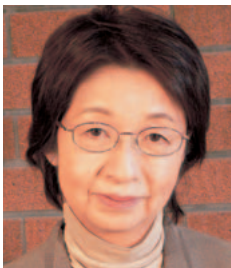
発行 放送大学

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地 043-276-5111(代)

## CONTENTS

学習のすすめ方について	1
電子ジャーナル利用ガイド	4
公開講演会及び オープンキャンパス開催のご案内	5
平成19年度開設・改訂科目紹介	7
平成19年度第1学期学部単位認定試験時間割	11・14
平成19年度第2学期学部単位認定試験時間割	12・13
平成19年度大学院単位認定試験時間割(第1・2学期)	15
平成19年度学部開設・改訂科目一覧	16
平成19年度大学院開設・改訂科目一覧	19
学習センターだより	20
研究室だより	21
放送大学附属図書館所蔵コレクション展開催	22
教務のお知らせ	23

# 学習のすすめ方について



## 外国語の学び方

人間の探究 教授 工藤 庸子

外国語はカラダ(身体)で学びましょう。とりわけ初めて学ぶ外国語の場合、とにかく声に出して発音すること、手で書いてつづりを習得することが第一です。自分の声に耳を傾ければ、自然と耳の訓練ができて、聴き取りも上達します。他人が書いたつづりを眺めているだ

けで、自然に書けるようになる人間なんているはずがありません。そう、カラオケが塗り絵をやるつもりで、カラダを使ってください。活きた言葉の魅力に触れるためには、ぜひ面接授業に参加してほしい。「初歩の語」シリーズでは、発音の原則と簡単な挨拶という程度の語学的な訓練に文化的、社会的な話題を盛りこんでモ

ティヴェーション教育を行います。このシリーズでは、放送授業にはないイタリア語、インドネシア語、フィリピン語、ポルトガル語なども開講されています。時間と精力をかければ、かならず報われる。それが外国語学習の愉しさではないでしょうか。



## 次のステップに進むには 続・外国語の学び方

人間の探究 助教授 大橋 理枝

活きた言葉の魅力に触れれば、きっと次のステップに進みたくなるはずです。そのときには、カラダを使うことと同時に辞書の活用をお勧めします。

辞書はある外国語の単語に対して日本語の意味が書いてあるものではなく、その単語がどう使われるかが書いてあるものです。たま

たま日本語でその使い方が書いてあるものの方が私たちにとって便利かもしれませんが、基本的には辞書に書いてあるのは「訳語」ではなく「言葉の使い方」です。言葉は単独で使われることは殆ど無く、必ずといっていいほど文の中で使われます。つまり、ある単語の意味はそれが使われている文脈の中で理解することが重要な

のです。ある単語について辞書を引いたら、その項目に書いてあるいろいろな意味のうち、文脈に合った意味を選び出さなければなりません。その際、辞書に書いてある例文が大いに参考になるはずですよ。活きた文脈の中で言葉を捉えることも、外国語の大切な学び方です。



## 学習の方法と基礎科目 - 学ぶことを学ぶ -

発達と教育 教授 岩永 雅也

本学では、今年度も学生を対象とする授業評価調査を実施しました。これほど頻りに調査を行う大学も珍しいのですが、放送授業中に学生の反応を見ることができず、教員と学生が顔を合わせる機会も限られているという特殊性を考えれば、その負担も甘受していただけたと思います。

さて、そうした調査のたびに自由意見として寄せられるのが、「勉強から離れて久しいので基礎から教えて欲しい」「勉強の仕方を学びたい」といった要望です。確かに、一般の大学では、効率的な学習方法や高校段階までの学問的基礎が身に付いていることを前

提として、「その先」ばかりを教えています。放送大学も、基本的にはその路線を概ね踏襲してきた。しかし、それでは皆さんの切なる要望に応えることにはもちろんなりません。

今、放送大学では、これまでの教育の在り方を抜本的に見直し、硬直化したシステムや実態に合わなくなった教育内容の改善に取り組んでいます。その一環として、新たに「基礎科目」というカテゴリーを設けました。このカテゴリーは、「大学で学習を始めるに当たり、学ぶための初歩的技能を身に付け、学問の魅力を知ることによって、さらに進んだ学習への準備をする」ことを目標に、「学びの魅力」「学びの技法」「学びの展開」といったシリ

ーズで構成されています。とりわけ、数学や物理学など、高校レベルの基礎の習得が必須の領域では、「初歩からの学」という科目群を用意し、全くの初歩から学び始められるよう配慮しています。難解な数式や理論、外国語なども極力使わない説明を心掛けています。もちろん、内容が理解し易いだけではありません。どうしたらその学問領域の内容を効率的に学べるかといった学習の技法についても十分盛り込まれています。学生の皆さんには、そうした基礎科目を積極的に履修し、段階を踏みながら大学での学習を着実に進めて欲しいと思います。そして何よりも、学ぶことの楽しさをそこに見出してもらえ、そのことを心から期待しています。



## 大学院生の学習方法・臨床心理学の場合 - 時間の「器」 -

臨床心理プログラム 教授 大場 登

「臨床心理プログラム」修士全科生の場合、幕張の本部において実に2年間で180時間に及ぶ面接授業（「臨床心理基礎実習」「臨床心理査定演習」等）が、そして、院生居住地近くの実習委託機関での90時間の臨床心理実習があるので、通信制大学院としては比較的きめ細かな指導が行われると言ってよいように思います。ただ、実は、たくさんの修士科目生の方々がおられます。科目生の皆さんは、それぞれのご事情の中で、黙々と勉強を続けておられることと思います。

そこで、今回は、修士科目生の皆さんに向けたメッセージを。臨

床心理学という学問は、生きた具体的な人間とかかわる学問です。だから「学習方法」としても、印刷教材を執筆し、放送授業を担当している教員という人間とのかかわりを通して学んでいただければと思います。そのためには、何とも基本的なことですが、まず印刷教材の各章を熟読した上で、一回一回の放送授業に向かってください。実は、これが「言うは易く、行うは難し」であることは、本当にそうだと思います。特に、臨床心理プログラムの基本2科目は、4単位30章科目ですから、1科目履修しただけで1週間に2回も放送授業がありますからね。その意味でも履修する科目は可能な限り少

なくして、授業視聴の時間を是非コンスタントに確保していただければと思います。この「毎週決まった時間にコンスタントに」というのは、実は「心理療法」の「時間の『器』」というものと同じことです。「毎週決まった時間」に、「向き合う」ことで、内的関心や内なるリビドーが動き出してくれはす。教員がお伝えしたいことは印刷教材の文章の内容はもちろん、文体、放送授業の声や語りを通して表現されています。「時間とエネルギー」をかけて取り組むことで、放送大学の教材は単なる「知識」であることをやめて、「生きた教材」になってくれるのではないかと期待しています。



## 数学は慣れることが第一

福岡学習センター所長 押川 元重

3千年前のエジプトや2千年前のギリシャの装飾品を見ると現在のものと変わらないようなその精巧さに驚かされます。でも、2千年前の人類はゼロという数を知りませんし、数百年前の人類は小数を知りません。しかし、現在では小学生でも数ゼロや小数を知っています。確かに最初に見つけ出すに当たっては優れた頭脳に頼らざるを得ませんが、見つけ出されたものについてはどれだけ使い慣れるかが第一です。

優劣を競わせるための道具として数学が用いられている側面があり、わざと混乱させるために複雑にしたり、理解の隙間を突く落とし穴が設けられたりしますので、間違いを恐れてびくびくおずおずした数学勉強の態度がつくられて

いる面があります。

また、数学の勉強は一步一步を確実に理解しながら進めていくことが必要であると強調され過ぎていると思います。それは試験の成績を気にし、失敗を恐れるような心を萎縮させた勉強の仕方と関係しています。実際は、理解していたつもりであったことの理解の不十分さに気づいたところから、本当の理解が進むというのが人間の脳の一般的な在り方であり、それは数学の勉強にも当てはまります。もはや競争する必要がなくなった数学の勉強においては、最初から細かなことは気にしないで、自ら理解できたつもりで仕向けながら勉強を進めるのが良いでしょう。

数学を独習することは難しいと言えます。ある一点が理解できないと勉強を先に進めることができないことになりがちだからです。

ところが、理解が不十分であることを気にしながらも何とか勉強を先に進めると、ひっかかった一点がなんでもないことであったことに気づかされるものです。

こうしたことを考えるとき、放送大学の数学科目を印刷教材だけで勉強しようとするのはかえって非効率です。印刷教材を相手に一人で苦闘するよりも、最初は放送授業を（できれば繰り返し）視聴することによって、慣れるための時間をたっぷり取りながら勉強を進めていくのが、効率的な勉強の仕方だと言えます。

慣れるための時間をかけることが大切ですから、そのための一つの方法は、数学のテキストをいつも目立つ場所に置いておくことです。気にかかる回数が多いだけで不思議と理解が容易になるものです。試してみてください。



## 「学び方」を教えてくださいませんか

編集委員長・図書館長 杉本 大一郎

「生涯学習」と言われると、学びたいこと、学ばなければならないことは山ほどあります。だが、学び始めてみると、遅々として進まないことが多いのです。効率良く楽に学べる方法はないのでしょうか。教育者を自認する人は、そういうことを考えるべきだと思います。最近、経済活動については、効率を上げるばかりを言っているというのに。

そこで「学び方」を取り上げて見ることにした。まずは5人の先

生方に自由に書いていただきました。記事の中には、「細かなことは気にしないで、自ら理解できたつもりで仕向けながら勉強を進めるのが良いでしょう」といった記述もあります。個々の事柄にこだわっていないで先へ進むと、ある日突然、それらがひと纏まりのものとして理解できるようになることが、しばしばあるものです。優等生的とか完全主義的なやりかたは、新しいことを学ぶのに、必ずしも適切なわけではありません。

皆さんの賛同が得られれば、今後はそのような記事も取り上げて

見ようかと思っています。

学んだり、研究をしたりしている間に、文献を調べる必要が起こるでしょう。放送大学附属図書館では「電子ジャーナル」を充実させる方向に進めようとしています。これだと、遠隔地からの利用も簡単です。今回は、学生さん（全科生）が自宅からでも簡単にアクセス出来るように整えました。これも楽をする方法の一つです。なお、利用方法については、次ページに説明をつけましたので参考にしてください。

# 電子ジャーナル利用ガイド

最新論文の入手・過去論文の検索はインターネットで！

## 電子ジャーナルとは？

電子ジャーナル (Electronic Journal, Online Journal) とは、インターネット上で閲覧することができる雑誌のことです。ご活用になれば、最新の学術論文の入手や詳しい検索を、より容易に迅速に行うことができます。ぜひ研究にお役立てください。

## ■利用方法

放送大学附属図書館が出版社等と契約しているものは、放送大学構内・各学習センターから、放送大学附属図書館の Web サイトを通して自由に利用することができます。個人IDの取得によって自宅から利用できるものもあります。詳しくは、放送大学附属図書館 Web サイトにアクセスしてください。⇒ <http://lib.u-air.ac.jp/>

## ■検索の流れ (CiNii の例)

① キーワードで検索

② 検索結果の表示

③ 論文の閲覧・印刷

## ■主な電子ジャーナル

### ScienceDirect

Elsevier Science 社発行の洋雑誌約 1,400 タイトルを提供。主要分野は科学・技術・医学。

### SpringerLink

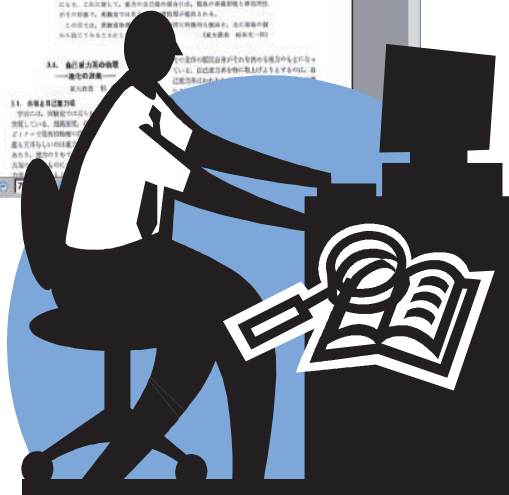
Springer グループ発行の洋雑誌約 1,850 タイトルを提供。収録分野は自然科学・人文科学・社会科学全般。

### JSTOR (The Arts and Sciences I のみ)

人文科学を中心に 15 分野 162 タイトルの電子ジャーナルを初号から最新号の 3~5 年前まで提供。

### CiNii (NII 論文情報ナビゲータ)

日本の学協会誌・大学紀要など学術雑誌掲載の約 990 万論文が検索可能。うち約 270 万論文の全文表示可能。



# 公開講演会及びオープンキャンパス開催のご案内

放送大学の各学習センターでは、学生に限らず広く地域の方々の生涯学習を支援するために公開講演会を開催しています。

また、オープンキャンパス(体験入学)も実施しておりますので、放送大学に関心をお持ちの方をお誘いの上、奮ってご参加くださいますようお願い

します。

オープンキャンパスは実施予定一覧以外にも各学習センター等において随時実施しておりますので、最寄りの学習センター・サテライトスペースにお問い合わせください。

なお、公開講演会及びオープンキャンパスの一覧や具体的な内容について

は、放送大学のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

公開講演会及びオープンキャンパスの申込みなど詳細については、実施する各学習センター・サテライトスペースにお問い合わせください。

## 公開講演会予定一覧 (平成19年1月~3月)

学習センター名	事前申込み必要(○)	開催予定日	場所	定員	講師名	題目
青森		19年 1月 20日(土)	八戸市地域地場産業振興センター (ユートリー5階視聴覚室)	40	鷹山 ひばり (七戸町立鷹山亭一記念美術館長)	未定
茨城		19年 1月 13日(土)	茨城県立図書館視聴覚ホール	200	熊原 啓作 (放送大学教授)	身の回りにある数学
		19年 2月 17日(土)	茨城県立図書館視聴覚ホール	200	市村 久美子 (客員教授)	家庭における健康管理
		19年 3月 10日(土)	茨城県立図書館視聴覚ホール	200	飯塚 和之 (客員教授)	「文学の中の法」と「法の中の文学」
群馬		19年 1月 13日(土)	群馬学習センター 第5講義室	40	板橋 英之 (群馬大学教授)	思わぬところに発見が... 重金属除去法の開発秘話
		19年 2月 24日(土)	群馬学習センター 第5講義室	40	藤本 宗利 (群馬大学教授)	源氏物語におけるモデル
埼玉		19年 1月 14日(日)	越谷コミュニティセンター	120	毛利 信男 (埼玉学習センター所長)	未定
		19年 1月 21日(日)	春日部市教育センター	100	毛利 信男 (埼玉学習センター所長)	未定
山梨		19年 1月 13日(土)	山梨学習センター 講義室2	80	兎束 保之 (山梨学習センター所長)	近未来の日本は食糧を確保できるか
長野		19年 1月 20日(土)	長野市生涯学習センター	50	深澤 恒男 (客員教授)	愛と死について - 「トリストランとイゾルデ」から-
三重		19年 1月 20日(土)	三重県生涯学習センター 大研修室	60	菅原 庸 (三重学習センター所長)	私たちのまわりの環境中のダイオキシンと環境ホルモン
		19年 2月 24日(土)	三重県生涯学習センター 視聴覚室	60	高橋 昌子 (客員教授)	芥川龍之介の文学
滋賀		19年 1月 13日(土)	大津市生涯学習センター	200	寺川 幽芳 (客員教授)	未定
島根		19年 1月 20日(土)	斐川町荒神谷博物館	50	会下 和宏 (島根大学ミュージアム助手)	東アジアから見た荒神谷遺跡
熊本		19年 1月 14日(日)	熊本学習センター 3階大講義室	100	甲斐 文朗 (客員教授)	分子の形と生命現象
		19年 1月 21日(日)	熊本学習センター 3階大講義室	100	吉丸 良治 (熊本県民カレッジ学長)	熊本の伝統文化を活かす
		19年 2月 11日(日)	熊本学習センター 3階大講義室	100	テリー・ラスカウスキー (客員教授)	Ways to communicate in English
大分		19年 1月 14日(日)	大分市コンパルホール4階視聴覚室	70	神戸 輝夫 (大分学習センター所長)・客員教員2名	未定

## オープンキャンパス予定一覧（平成19年1月～3月）

学習センター・サテライトスペース名	開催予定日	場所
青森	1月 20日（土）	青森学習センター
八戸サテライト	1月 20日（土） 1月 21日（日）	八戸サテライトスペース
岩手	2月 17日（土）	奥州市文化会館
宮城	1月 14日（日）	宮城学習センター
山形	1月 12日（金）	鶴岡市中央公民館
	1月 13日（土）	新庄市民プラザ
	1月 14日（日） 1月 20日（土） 3月 10日（土） 3月 17日（土）	山形学習センター
茨城	1月 13日（土） 2月 17日（土） 3月 10日（土）	茨城県立図書館
千葉	1月 20日（土）	千葉学習センター
新潟	1月 13日（土） 1月 17日（水） 2月 8日（木）	新潟学習センター
愛知	2月 10日（土）	愛知学習センター
三重	1月 13日（土） 2月 10日（土）	三重学習センター
大阪	1月 14日（日）	大阪学習センター
島根	1月 7日（日） 1月 21日（日） 2月 10日（土） 2月 18日（日）	島根学習センター
岡山	1月 13日（土） 1月 14日（日） 2月 10日（土）	岡山学習センター
香川	2月 10日（土）	香川学習センター
愛媛	1月 12日（金） 1月 13日（土） 1月 14日（日）	愛媛学習センター
高知	1月 14日（日）	高知学習センター
福岡	1月 7日（日） 1月 20日（土） 2月 10日（土） 3月 4日（日） 3月 17日（土）	福岡学習センター
北九州サテライト	1月 7日（日） 1月 20日（土） 2月 10日（土） 3月 4日（日） 3月 17日（土）	北九州サテライトスペース
長崎	1月 14日（日） 2月 10日（土） 2月 25日（日）	長崎学習センター
大分	1月 16日（火） 1月 17日（水） 1月 18日（木） 1月 19日（金） 1月 20日（土） 1月 21日（日）	大分学習センター
沖縄	2月 17日（土） 2月 18日（日）	石垣市総合体育館
	2月 24日（土） 2月 25日（日）	宮古島市中央公民館

山形学習センターの日は、事前申込みが必要。

学部  
開設科目

## 平成19年度開設・改訂科目紹介

今回は基礎科目のうち6科目を紹介します

### 科学的な見方・考え方（'07）

私たちの生きる社会構造や人工的な環境はますます複雑になっています。人間活動に伴う地球温暖化、大気環境の劣化、生態系の破壊などが大きな問題として捉えられ、その原因や対策が人類を含む生物の生き残りをかけた課題とも言われています。健康や医療に関する話題も絶えることはありません。一方で、テレビやラジオ、新聞や雑誌だけでなく、インターネット技術の発展に伴って、さまざまな情報が溢れています。それらの中には意図的に本質を覆い隠すような情報や宣伝もあります。一方で、科学や技術は、強固な基盤に基づいて、ますます高度に、精

密に、そして大規模に発展しています。それに伴い、科学技術がブラックボックス化し、科学・技術と科学に対する素朴な理解との間の乖離が広がり、若者をはじめとする市民の科学離れとなっているようです。

したがって、何が正しく何が根拠のないものかの判断が極めて重要になります。科学的な見方・考え方が、そのような判断をする場合に有益な指針となるでしょう。特に自然科学で鍛えられ、経済現象や社会現象にも適用できる強固で確かな見方・考え方を身につけることが重要だと思います。この講義では、自然科学での考え方を中

自然の理解 教授 濱田 嘉昭

心にしつつ、それ以外の分野でも重要と思われる事柄を、なるべく例を挙げながら考え、日常生活にも役立つような見方・考え方を身につけることを目標としています。



### 日本語表現法（'07）

例えば、授業科目の通信指導や単位認定試験が記述式の出題であった場合、いったい、何をどのように書けばいいのか、全く見当がつかず、苦し紛れに、印刷教材のそれらしい記述部分を丸写しにすることしかできなかった……などという思いをされた方も少なからずいるのではないのでしょうか。

物事を書き表すということは、実際に行おうと思う以上、難しいものです。いざ書かなければならないとなると、何をどうしていいのかわからず、頭の中が真っ白……この授業は、まさにそんな方のために、最低限、ここをこうす

れば何とか書ける、という基本的な方法や考え方を、実際の例文を通じて学んでいく構成になっています。

特に、いわゆる小論文やレポートのような類の文章、つまり、自分の考えを、読む人に納得してもらえようように説明するための文章に焦点を絞り、大学で、様々な科目を学んだり、演習や卒業研究などに積極的に取り組んだりする上で必須の基礎である「文章の書き方」を、はじめの一步から勉強できるように考えました。

「言い表したいことはたくさんあるのに、言葉としての形にすることがなかなかできない。」

人間の探究 助教授 杉浦 克己

「指定された文字数のマス目を埋めるだけで四苦八苦してしまう。」……そんな苦手意識を克服するコツを、この授業の中で身に付けてほしいと思います。



## 市民と社会を考えるために ('07)

社会と経済 教授 天川 晃  
社会と経済 教授 高木 保興  
明治学院大学 教授  
(放送大学客員教授) 浅川 達人

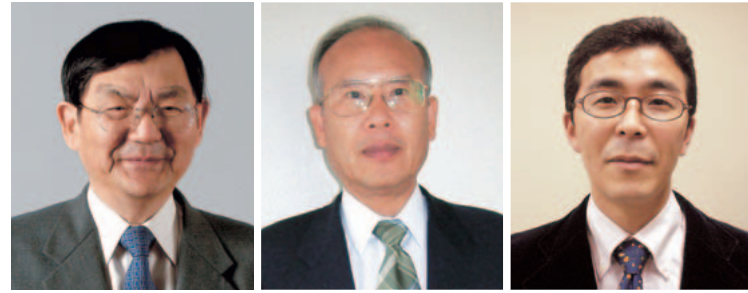
テレビや新聞を通じて伝えられる国内や国際間の多くの問題は、社会科学を学ぶことによってより深く理解することが可能になります。未解決の問題は、そのほとんどが程度問題で、白黒のはっきりしたものは数えるほどしかありません。何を根拠にして程度が「過ぎている」と批判するのか、「この程度なら」許容範囲とみなすのか、いろいろな意見が出てきてもおかしくはありません。この点が重要です。国民の大半が同じ意見を持っているほど危険なことはありません。

この講義には三つの主要な目的があります。一つ目は、実例を挙げながら、いろいろな角度から異な

った意見を紹介し、学び考えることの重要性を明らかにすること。二つ目は、社会学、法学、政治学、経済学の基本的な考え方を平易に解説し、社会科学の面白さを味わってもらうこと。そして、三つ目は、狭い一つの学問領域に留まるよりも、広く社会科学を学ぶ方が理解を深めるのに役立つ点を実感してもらうこと、です。

真に「豊かな」社会へと前進するには、市民一人一人が学び考え互いに意見

を出し合い議論することが重要であるというメッセージを伝えるため、放送教材では異なる分野の専門家による対談や鼎談形式が多く採用されています。研究といえば、自然科学や技術の進歩と考えられがちであるが、社会科学はそれらを支える社会の在り方に大きな役割を演じていることを理解していただければよい。



天川晃 教授 高木保興 教授 浅川達人 教授

## 数学再入門 ('07)

小学生や中学生のときまでは数学が好きだったのに、高校生の頃から数学に縁遠くなってしまったという人は少なくありません。機械的な計算の訓練が終ってやっと数学が面白くなって来るところなのです。実は、それはとても「もったいない」。新規科目「数学再入門」は、本当は数学が好きになり得た人々のために、分かっていたはずの中学数学、急に分からなくなった高校数学の内容を、大学の立場から俯瞰的に見直すことを通じて、個々の数学の主題のエッセンスを理解し、数学的思考法の面白さと楽しさ、そしてその威力を再発見することを目指すものです。

たとえば「二つの負の数の積は

正の数である」という法則は、それを暗記して使いこなすことも、負の数や積を適当な現実的なモデルに対応させて比喩的に納得することも難しいことではありません。しかし、これを原理的に理解している人はごく少数でしょう。

あるいは、三角関数sin、cosの龐大な数の公式は、しばしば美しくない機械的な暗記にすぎず、諸公式のもつ理論的意味を有機的に理解することはあまりなされていないのではないのでしょうか。

「中学、高校のときは分からなくて当然」であった数学の理論的な深みを瞥見し、反対に「子供の頃は分かった気にさせられていた」浅薄さを反省することを通じて、数学との、より楽しい、そし

自然の理解 教授 長岡 亮介

てより深い《再会》の場を提供できれば、と願っています。特に放送教材では、数学の技術的な修練には力点をおかず、数学的な思想と方法の豊かさを具体的な素材を利用してお伝えし、その先に拓かれるより広大な数理世界への誘いとなることを目指しています。



## 8 世界の名作を読む ('07)

文学を愉しみながら読むことを目標とする教材です。いくつか工夫をしてみました。第一に、この作家を語るなら、この人を描いて他にないという講師をお招きしました。カフカは池内紀先生、マーク・トウェインは柴田元幸先生、ドストエフスキーは沼野充義先生、イタロ・カルヴィーノは和田忠彦先生、という具合。第二に、声によって文学の世界に誘うために、朗読をたっぷりお聴かせします。第三に、MP3やホームページなどのメディアで補助教材を提供します。そして第四に、講義には、毎回明確なポイントがあります。『ドン・キホーテ』は「講談」のように読める。『嵐が丘』は女性作家の描いたロマン主義と愛の世界。『罪と罰』は暗く深刻な人生論というより大都市を舞台にした現代的なサスペンス。『ハックルベリー・フィンの冒険』は少年のおしゃべりという文体が極め

手。『変身』における変身ぶりの不思議と当人が不思議に思わぬこととの不思議。カルヴィーノの短篇のポストモダン性……。他にもヴァージニア・ウルフ、ブルースト、メルヴィル、チェーホフなどが登場します。

ところで「世界の名作」の条件とは何か？ だれでもが自分の身近なテーマを発見することができて、しかも背後には、人生や社会や歴史をめぐる深い洞察が隠されているような書物、と定義しておきましょう。

文学は言葉の芸術です。いわゆる「読書感想文」とはちがうやり方で文学について語る方法を、それぞれの講師が実践的に示します。その実例をしっかりと理解したら、今度は自分

人間の探究 教授 工藤 庸子  
人間の探究 助教授 大石 和欣

で作品を読みながらメモをとり、どんなふうにかかれているか、考えてみてください。文学とは言葉の問題、つまり書き方の問題なのです。

文学好きの人はいまでもなく、文学離れた若者たちもターゲットにした講義です。教員、図書館司書、ボランティアなど、読書指導の現場にいる人たちが、指導の技法を学ぶためにも、ぜひ活用していただきたいと思ひます。



工藤庸子 教授 大石和欣 助教授

## 9 エネルギー学の基礎 ('07)

私たちは「エネルギー」及びそれに関連した用語、たとえば「エネルギー資源の枯渇」とか「省エネ」のような用語を毎日のように目にします。これらエネルギー問題は環境問題とともに対策が急がれている問題です。

私たちはこの問題に直面するとき、問題の大きさに圧倒されて、過度に悲観的になったり、過度に楽観的になったりしがちです。必要なことは、冷静にエネルギーの本質を理解し、エネルギー問題の核心をとらえ、エネルギー技術の可能性とエネルギーとともにある生活文化を考察することでしょう。

本科目は、こうした視点から、エネルギー問題を理解する上で必要な基礎的知識を身に付けることを目的としています。そのために、

まず前半で、エネルギーやその保存則あるいはエントロピーやその増大則など自然科学の考え方を学習し、後半で、エネルギー問題に関わる経済学的、政治学あるいは生活科学的課題について考えます。その内容は、地球温暖化現象や原子力エネルギーの展望や中東の石油資源を巡る国際紛争から省エネや食料確保にいたる多岐のテーマに渡っています。

本科目は基礎科目に属しており、どの専攻の学生さんにも理解できるように制作しました。とくに、理解の前提となる数学や自然科学の知識は必要に応じて解

自然の理解 助教授 吉岡 一男  
社会と経済 教授 林 敏彦

説しました。しかし、エネルギー問題を考える上で欠かせない骨格となる知識のレベルは落としてはいません。

本科目名に「学」の字が付いているのも、知識を系統的に与えることを示すためです。皆さんがエネルギー問題を考える際に、本科目で学んだ知識が活かされることを願っています。



吉岡一男 助教授 林敏彦 教授

## 地域文化研究III ('07)

### - ヨーロッパの歴史と文化 -

ヨーロッパの歴史というと多くは各国別に分断されて論じられてきました。しかしヨーロッパはいろいろな意味で有機的につながっています。近世以降のプロテスタントとカトリックという違いはありますが、キリスト教が支配していたこと、ギリシャ、ローマの遺産を共通の伝統として持っているということ、といったことばかりではなく、古くから人々は旅をし、知見を広め、自国の文化のなかにヨーロッパという普遍的なものを作り上げてきたと云っても過言ではありません。さらにヨーロッパは非ヨーロッパと出会うことで自らを豊かにしてきました。

この授業のテーマは、いかに人、モノ、情報などが移動や交流を通

じてヨーロッパのなかで繋がっていたかを考えることであります。当然のことながら、包括的なヨーロッパの歴史や文化を学習することが目標ではありません。授業で採り上げるさまざまなテーマは主任講師や分担講師たちがそれぞれ得意とするもののなかから選んだものですが、それらの一つのきっかけとして、学生の皆さんが自らの関心で越境する文化について調べたり考えたりするヒントがあちこちに散りばめられていますので、参考にしたいと思いま

す。主任講師の二人は、イギリス、フランス、イタリアと旅し、お互いの専門を越えて地域の特性とヨーロッパの広がりについて語り合い、またいろいろな人たちにインタビューを行ってきました。その辺も楽しんでいただければと思っています。

総合文化プログラム文化情報科学群  
東京大学大学院  
(放送大学客員教授)

教授 草光 俊雄  
教授 宮下 史朗



草光俊雄 教授



宮下史朗 教授

## 複雑システム科学 ('07)

総合文化プログラム環境システム科学群 教授 生井澤 寛

自然科学、特に物理学は、自然の理解に当たって、構成要素や基本的・普遍的な原理の追究を、ときには理想化や単純化をしながら行ってきました。こうして我々は、通常見る物質が、原子・分子から成り、それらが、電子、陽子、中性子などの素粒子から成り、素粒子はさらに...というように、階層性を持つ構成要素とそれらの相互作用を発見し、ミクロな世界だけでなく、宇宙の生成に至るまでの自然の様々な様相の理解にかなりの成功を収めたし、いまでも同様のやり方で探求を続けています。

では、例えば空気が主に窒素、酸素と水の分子からなることを知って、台風がどうして、どこに、いつ発生し、どういう運動をするかを理解できるでしょうか。これは決して易しい問題ではありません

ん。まず問題を難しくするのは、分子の数が膨大であることによる複雑さのほかに、海流、海水から太陽熱を吸収して蒸発する水蒸気と上昇気流、雲の生成消滅等、熱平衡にない(非平衡)状態、エネルギーや物質の出入りがある状況(開放系という)さらに無数の雲の渦の生成消滅と非線形な相互作用が絡むからです。非線形な作用があれば、要素の数が少なくても、運動には本質的な複雑さが生ずるし、加えて、開放系で非平衡状態であるために、複雑さは増すことになります。にもかかわらず、いつか無数の渦の中のどれかが成長して台風という形(形態形成)を取り、一つの存在として発達しながら動き始めます。(自己発展・自己組織化)

実は良く見れば、我々が日常見

るほとんどのもの(生命・生物と進化、乱れた水の流れ、気象など)が、この様な複雑システムであり、ものの変化や秩序の形成は非平衡性、非線形性によって動かされています。これらの様相を、「木(構成要素)もみながら森(全体)も見る」と言う見方で探求し、自然や社会現象、経済活動などを理解する手がかりを得ようというのがこの科目のねらいです。



# 平成19年度第1学期

# 学部単位認定試験時間割

時限	曜日	平成19年 7月29日(日)	7月30日(月)	平成19年 7月31日(火)	平成19年 8月1日(水)	平成19年 8月2日(木)	8月3日(金)	平成19年 8月4日(土)	平成19年 8月5日(日)
1		心の科学(04) 国文学入門(04) 学習科学(04) 道徳教育論(05) 都市社会の人間関係(04) 書誌学(03) アメリカの歴史(04) 西洋音楽の諸問題(05)		倫理思想の源流(05) 発達障害の教育支援法(06) 現代の社会心理学(04) 行政法と市民(06) 国際経済学(05) 近代ヨーロッパ史(05) 比較教育制度論(03)	初歩からの微積分(06) 現代科学と医療(04) 障害者福祉論(05) 建築意匠論(04) 運動と力(05) 分子生物学(05)	心理学入門(06) 岐路に立つ大学(04) 国際関係法(06) 西洋政治思想史(05) 近代日本と国際社会(04)		感染症と生体防御(04) ベンチャー企業論(05) 数学再入門(07) 自然と社会を貫く数学(07) 情報科学の基礎(07) 数学の歴史(03) 中小企業の挑戦(03) 現象の数理(03) 日本列島の地球科学(03)	アジアの社会福祉(06) アグリビジネスと農業・農村(06) 物質・材料工学と社会(05) 幾何入門(04) 植物の生理(04) 心理学入門(06)
2		経済学入門(04) 心理学史(05) 生徒指導(06) 現代コミュニティ論(06) 日本文学における住まい(04) 乳幼児・児童の心理臨床(07) 日本政治外交史(07) 児童の臨床心理(03) 日本政治史-20世紀の日本政治(03) フランス文学(03)		認知心理学概論(06) 発達障害教育論(06) 現代行政分析(04) ジェンダーの社会学(03) 音楽理論の基礎(07) ドイツ観念論への招待(03)	線型代数入門(03) 基礎化学(06) 衣生活の科学(06) 管理会計(06) 宇宙からの情報(05) 日本語学概説(06) 経営学入門(07) 経営学(03)	神経心理学(06) 市民生活の財産法(06) 第三世界の政治(05) 博物館資料論(04)		問題解決の発想と表現(04) 住まいの構造・構法(04) 複素数と関数(04) 相対論(04) 少子化時代の児童福祉(07) 児童家庭福祉(03)	グローバル経営戦略(06) アジアの風土と服飾文化(04) がんの健康科学(06) バイオテクノロジーと社会(05) 物質の科学・有機構造解析(03) 細胞生物学(07) 細胞生物学(03)
3		財政学(05) 日本の古典-散文編(06) 前近代の東南アジア(06) 芸術の理論と歴史(06) 政治学入門(07) 途上国の開発(07) 政治学入門(03) マスメディア論(03)		現代思想の地平(05) 生涯学習と自己実現(06) 日本の古典-古代編(05) 自己を見つめる(02) 情報と社会(06) 日本のマスメディア(07) ドイツの言語文化(02)	人体の構造と機能(05) 地域福祉論(06) 人間活動の環境影響(05) 計算科学(03)	統計学入門(04) 基礎発達心理学(06) 仏教の思想(05) ヨーロッパの歴史(05) 博物館経営・情報論(04) 社会統計学(07) 日本語表現法(07) 日本のマスメディア(07) 環境社会学(03) イギリス文学(03)		変化する地球環境(04) 実験科学とその方法(06) 生活の経済(04) 物理の考え方(07) マスメディア論(03) 物質の科学・量子化学(03)	患者からみた医療(03) 経営工学総論(04) 現代の生活問題(07) 物質循環と人間活動(07) 現代社会におけるライフコース(03) 流体的地球像(03)
4		ドイツ語入門(06) フランス語入門(06) ロシア語入門(05) 韓国語入門(06) 保健体育(05) 在宅看護論(04) 英語総合(07) 日本語基礎B(07) 英語(03) 日本語(03)	休	家庭・学校と地域社会(04) 裁判の法と手続(04) ヨーロッパ政治史(05) 進化と人間行動(07) 現代を生きる哲学(07) 中国社会の歴史的展開(07) 特別支援教育総論(07) 近代哲学の射程(03) 学習科学とテクノロジー(03) 東アジアの中の中国史(03)	家族のストレスとサポート(04) 光電子技術とIT社会(04) 数学基礎論(03) 生物界の変遷(06) エネルギー学の基礎(07) かしくなる患者学(07) ゲノム生物学(03) エネルギーと熱(03)	法の世界(04) 心の健康と病理(04) 国際政治(04) 現代経済学(05) ギリシャ哲学(03) 韓国朝鮮の歴史と社会(04)	休	簿記入門(06) 光と電磁場(05) 物理の世界(07) 変動する社会と暮らし(07) 社会技術概論(07) 身近な統計(07) 物理の世界(03) 世界の食糧問題とフードシステム(03) 都市システム工学(03) 多変数の微積分(03)	英語(03) 英語中級B(06) 英語総合A(05) ドイツ語入門(06) フランス語基礎(06) 中国語入門(05) 韓国語入門(06)
5		フランス語入門(06) 中国語入門(05) 日本語基礎A(06) 基礎看護学(04) スペイン語入門(07) 英語(03) スペイン語(03)	日	著作権法概論(06) 近代詩歌の歴史(04) 教育の方法(04) 応用心理学(05) 比較政治学(04) 科学の哲学(04) 博物館概論(07) 博物館概論(03) 中国の言語文化(02)	技術者倫理(04) 国際共生と健康(04) 人工物と設計(04) コミュニケーション論序説(07) 生物集団と地球環境(07) 次世代育成を考える(03) 集団と環境の生物学(03)	哲学入門(04) 授業研究と談話分析(06) 紛争の社会学(04) 基礎教育学(07) 企業の組織・取引と法(07) 資源人類学(07) 教育の哲学(03) 商法(03) ドイツ文学(03)	日	確率・統計の基礎(05) 企業ファイナンス入門(04) 統計学とその応用(05) 動物の行動と生態(04) 公衆衛生(05) 分析によって知る世界(07) 都市と人間(03)	英語基礎A(05) ドイツ語基礎(06) 中国語(04) ロシア語入門(05) 初歩のアラビア語(06) スペイン語入門(07) スペイン語(03)
6		発達と教育の心理学的基礎(05) 子ども・青年の生活と発達(06) 欧米経済史(04) フィールド社会心理学(04) 朱子学と陽明学(04) 演劇入門(06) 日本の中世(07) 中世日本の歴史(03)		21世紀の社会学(05) 世界の産業再編成(04) 臨床心理学概説(03) 日本政治思想史(05) 上代の日本文学(04) 古代地中海世界の歴史(04) 20世紀の中国文学(05)	疾病の成立と回復促進(05) 若者の科学離れを考える(04) 21世紀の女性と仕事(06) ネットワーク産業論(04) 惑星地球の進化(07) 天体物理学入門(03)	社会調査(05) カウンセリング概説(05) 経済学(04) 現代東アジアの政治(04) 応用音楽学と民族音楽学(04) 21世紀の社会学(05) 市民と社会を考えるために(07)		宇宙とその歴史(04) 情報技術と社会(05) 量子力学(05) 住まい学入門(07) リハビリテーション(07) NPOマネジメント(07) 東アジア・東南アジアの住文化(03) リハビリテーション(03) 産業と労使(03) 持続的発展と国際協力(03)	基礎生物学(03) 国際経営論(05) 生物学の歴史(05) 日本の食文化(04) 生活の動態と経営(05) マーケティング論(04) 進化する宇宙(05)
7		生命と人生の倫理(05) 表象としての日本(04) 教育の社会文化史(04) 幼児の教育と保育(04) 自我の社会学(05) 日本の古典-江戸文学編(06) 消費者と証券投資(07) 日本の近世(07) 産業社会と消費社会の現代(03) 近世日本の歴史(03)		心理学研究法(03) 刑法(05) 芸術・文化・社会(06) 人類の歴史・地球の現在(07) 教育社会学(07) 現代日本の政治(07) 近代日本における外国文学の受容(03) 教育社会学(03) 現代日本の政治(03)	看護学概説(05) イノベーション経営(05) 数学とコンピュータ(06) 物質の科学・反応と物性(04) 高年齢を支える社会福祉システム(07) 高齢者福祉論(03)	人文地理学(04) 日本国憲法(05) 日本の古代(05) 中世日本の物語と絵画(04) 転換期の教師(07) こころとからだ(07) 世界の名作を読む(07) 近代の教育思想(03) 心理臨床の世界(03) ヘーゲルを読む(03)		宇宙像の変遷と科学(04) 脳科学の進歩(06) 会計学(04) 日本の製造業の新展開(05) 計算力学(04) 数理モデルとカオス(05) 生命と金属の世界(05) 疾病の成立と回復促進(05)	人口減少社会の生活像(06) 食品の安全性を考える(04) 暮らしの防犯と防災(06) 情報産業論(04) 物質の科学・有機化学(06) 科学的な見方・考え方(07) 疾病の回復を促進する薬(07) 科学・技術と社会(03) 日本法文化の形成(03)
8		東アジアのなかの日本文学(05) 数量心理学(06) スクールカウンセリング(05) 中央アジアの歴史・社会・文化(04) 文化人類学(04) 基礎生物学(03) 経済社会の考え方(07)		日本語学概説(06) 発達障害児の心と行動(06) 日本経済史(03) 金融論(04) 近代の日本文学(05) ユング心理学(03) 精神分析入門(07) 感情の心理学(07) 国際化と教育(03)	食と健康(06) 線型代数学(04) 物性物理学入門(04) 身体福祉論(07) 生活とリスク(07) 身体福祉論(03) 公的扶助(02)	アーツ・マネジメント(06) 人格心理学(04) 現象学の基礎(04) 日本語の歴史(05) 考古学と歴史(04) 哲学入門(04)		公衆衛生(05) エネルギー工学と社会(06) 欧米の社会福祉(07) 使える数理リテラシー(03)	社会福祉入門(04) 物質の科学と先端技術(04) 服飾と心理(05) 社会保険と市民生活(04) 人間と自然(03) 企業統治と企業倫理(07)

看護師資格取得に資する内容の別試験実施

例：フランス文学(03).....平成18年度末での開講科目です。再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。

# 平成19年度第2学期

# 学部単位認定試験時間割

時限	曜日	平成20年 1月27日(日)	1月28日(月)	平成20年 1月29日(火)	平成20年 1月30日(水)	平成20年 1月31日(木)	2月1日(金)	平成20年 2月2日(土)	平成20年 2月3日(日)
1 9:15 ~ 10:05		日本語学概説(06) 発達障害児の心と行動(06) 日本経済史(03) 金融論(04) 近代の日本文学(05) ユング心理学(03) 精神分析入門(07) 感情の心理学(07)		法の世界(04) 心の健康と病理(04) 国際政治(04) 現代経済学(05) ギリシャ哲学(03) 韓国朝鮮の歴史と社会(04)	家族のストレスとサポート(04) 光電子技術とIT社会(04) 数学基礎論(03) 生物界の変遷(06) エネルギー学の基礎(07) かしくなる患者学(07)	社会福祉入門(04) 物質の科学と先端技術(04) 服飾と心理(05) 社会保険と市民生活(04) 人間の自然(03) 企業統治と企業倫理(07)		食と健康(06) 線型代数学(04) 物性物理学入門(04) 身体福祉論(07) 生活とリスク(07)	アーツ・マネジメント(06) 人格心理学(04) 現象学の基礎(04) 日本語の歴史(05) 考古学と歴史(04) 哲学入門(04)
2 10:25 ~ 11:15		倫理思想の源流(05) 発達障害の教育支援法(06) 現代の社会心理学(04) 行政法と市民(06) 国際経済学(05) 近代ヨーロッパ史(05) 比較教育制度論(03)		哲学入門(04) 授業研究と談話分析(06) 紛争の社会学(04) 基礎教育学(07) 企業の組織・取引と法(07) 資源人類学(07)	技術者倫理(04) 国際共生と健康(04) 人工物と設計(04) コミュニケーション論序説(07) 生物集団と地球環境(07)	アジアの社会福祉(06) アグリビジネスと農業・農村(06) 物質・材料工学と社会(05) 幾何入門(04) 植物の生理(04) 心理学入門(06)		初歩からの微積分(06) 現代科学と医療(04) 障害者福祉論(05) 建築意匠論(04) 運動と力(05) 分子生物学(05)	心理学入門(06) 岐路に立つ大学(04) 国際関係論(06) 西洋政治思想史(05) 近代日本と国際社会(04)
3 11:35 ~ 12:25		認知心理学概説(06) 発達障害教育論(06) 現代行政分析(04) ジェンダーの社会学(03) 音楽理論の基礎(07)		経済学入門(04) 心理学史(05) 生徒指導(06) 現代コミュニティ論(06) 日本文学における住まい(04) 乳幼児・児童の心理臨床(07) 日本政治外交史(07)	問題解決の発想と表現(04) 住まいの構造・構法(04) 複素数と関数(04) 相対論(04) 少子化時代の児童福祉(07)	グローバル経営戦略(06) アジアの風土と服飾文化(04) がんの健康科学(06) バイオテクノロジーと社会(05) 物質の科学・有機構造解析(03) 細胞生物学(07)		線型代数入門(03) 基礎化学(06) 衣生活の科学(06) 管理会計(06) 宇宙からの情報(05) 日本語学概説(06) 経営学入門(07)	神経心理学(06) 市民生活の財産法(06) 第三世界の政治(05) 博物館資料論(04) 雇用・福祉・家族と法(07)
4 13:15 ~ 14:05		現代思想の地平(05) 生涯学習と自己実現(06) 日本の古典 - 古代編(05) 自己を見つめる(02) 情報と社会(06) 日本のマスメディア(07)	休	財政学(05) 日本の古典 - 散文編(06) 前近代の東南アジア(06) 芸術の理論と歴史(06) 政治学入門(07) 途上国の開発(07)	変化する地球環境(04) 実験科学とその方法(06) 生活の経済(04) 物理の考え方(07)	患者からみた医療(03) 経営工学総論(04) 現代の生活問題(07) 物質循環と人間活動(07)	休	ドイツ語入門(06) フランス語入門(06) ロシア語入門(05) 韓国語入門(06) 保健体育(05) 在宅看護論(04) 英語総合B(07) 日本語基礎B(07)	英語(03) 英語中級B(06) 英語総合A(05) ドイツ語入門(06) フランス語基礎(06) 中国語入門(05) 韓国語入門(06)
5 14:25 ~ 15:15		家庭・学校と地域社会(04) 裁判の法と手続(04) ヨーロッパ政治史(05) 進化と人間行動(07) 現代を生きる哲学(07) 中国社会の歴史的展開(07) 特別支援教育総論(07)	日	発達と教育の心理学的基盤(05) 子ども・青年の生活と発達(06) 欧米経済史(04) フィールド社会心理学(04) 朱子学と陽明学(04) 演劇入門(06) 日本の中世(07)	宇宙とその歴史(04) 情報技術と社会(05) 量子力学(05) 住まい学入門(07) リハビリテーション(07) NPOマネジメント(07)	簿記入門(06) 光と電磁場(05) 物理の世界(07) 変動する社会と暮らし(07) 社会技術概論(07) 身近な統計(07)	日	フランス語入門(06) 中国語入門(05) 日本語基礎A(06) 基礎看護学(04) スペイン語入門(07)	英語基礎A(05) ドイツ語基礎(06) 中国語(04) ロシア語入門(05) 初歩のアラビア語(06) スペイン語入門(07)
6 15:35 ~ 16:25		著作権法概論(06) 近代詩歌の歴史(04) 教育の方法(04) 応用心理学(05) 比較政治学(04) 科学の哲学(04) 博物館概論(07)		生命と人生の倫理(05) 表象としての日本(04) 教育の社会学(04) 幼児の教育と保育(04) 自我の社会学(05) 日本の古典 - 江戸文学編(06) 消費者と証券投資(07) 日本の近世(07)	宇宙像の変遷と科学(04) 脳科学の進歩(06) 会計学(04) 日本の製造業の新展開(05) 計算力学(04) 数理モデルとカオス(05) 生命と金属の世界(05) 疾病の成立と回復促進(05)	確率・統計の基礎(05) 企業ファイナンス入門(04) 統計学(04) 動物の行動と生態(04) 分析によって知る世界(07) 公衆衛生(05)		人体の構造と機能(05) 地域福祉論(06) 人間活動の環境影響(05)	統計学入門(04) 基礎発達心理学(06) 仏教の思想(05) ヨーロッパの歴史(05) 博物館経営・情報論(04) 社会統計学(07) 日本語表現法(07) 日本のマスメディア(07)
7 16:45 ~ 17:35		21世紀の社会学(05) 世界の産業再編成(04) 臨床心理学概説(03) 日本政治思想史(05) 上代の日本文学(04) 古代地中海世界の歴史(04) 20世紀の中国文学(05)		東アジアのなかの日本文化(05) 計量心理学(06) スクールカウンセリング(05) 中央アジアの歴史・社会・文化(04) 文化人類学(04) 基礎生物学(03) 経済社会の考え方(07)	公衆衛生(05) エネルギー工学と社会(06) 欧米の社会福祉(07) 使える数理リテラシー(03)	基礎生物学(03) 国際経営論(05) 生物学の歴史(05) 日本の食文化(04) 生活の動態と経営(05) マーケティング論(04) 進化する宇宙(05)		疾病の成立と回復促進(05) 若者の科学離れを考える(04) 21世紀の女性と仕事(06) ネットワーク産業論(04) 惑星地球の進化(07)	社会調査(05) カウンセリング概説(05) 経済法(04) 現代東アジアの政治(04) 応用音楽学と民族音楽学(04) 21世紀の社会学(05) 市民と社会を考えるために(07)
8 17:55 ~ 18:45		心理学研究法(03) 刑法(05) 芸術・文化・社会(06) 人類の歴史・地球の現在(07) 教育社会学(07) 現代日本の政治(07)		心の科学(04) 国文学入門(04) 学習科学(04) 道徳教育論(05) 都市社会の人間関係(04) 書誌学(03) アメリカの歴史(04) 西洋音楽の諸問題(05)	感染症と生体防御(04) ベンチャー企業論(05) 数学再入門(07) 自然と社会を貫く数学(07) 情報科学の基礎(07)	人口減少社会の生活像(06) 食品の安全性を考える(04) 暮らしの防犯と防災(06) 情報産業論(04) 物質の科学・有機化学(06) 科学的な見方・考え方(07) 疾病の回復を促進する薬(07)		看護学概説(05) イノベーション経営(05) 数学とコンピュータ(06) 物質の科学・反応と物性(04) 高齢期を支える社会福祉システム(07)	人文地理学(04) 日本国憲法(05) 日本の古代(05) 中世日本の物語と絵画(04) 転換期の教師(07) こころとからだ(07) 世界の名作を読む(07)

看護師資格取得に資する内容の別試験実施



# 平成19年度大学院単位認定試験時間割

## (第1学期)

## (第2学期)

曜日 時限	平成19年7月27日(金)	平成19年7月28日(土)
1 9:15 } 10:05	生活科学Ⅰ('05) 地方自治政策Ⅱ('04) 教授・学習過程論('06) 国際社会研究Ⅱ('07) 環境工学('07) 国際社会研究Ⅱ('02) 環境工学('03)	地域文化研究Ⅰ('06) 技術社会関係論('04) 臨床心理学研究法特論('06) 市民性形成論('07) 道徳性形成論('03)
2 10:25 } 11:15	言語文化研究Ⅲ('05) 数理システム科学('05) 芸術文化政策Ⅰ('02) 臨床心理地域援助特論('07) 現代身体教育論('06) コミュニティ・アプローチ特論('03)	地域文化研究Ⅱ('06) 生活科学Ⅱ('06) 環境マネジメント('06) 発達心理学特論('07) 発達心理学('02)
3 11:35 } 12:25	生命環境科学Ⅰ('05) 都市デザイン論('06) 学校臨床心理学('05) 地域文化研究Ⅲ('07) 地域文化研究Ⅲ('02)	総合情報学('06) 情報システム科学('06) 生涯学習論('06) 文化政策の展開('07) 芸術文化政策Ⅱ('02)
4 13:15 } 14:05	比較文化研究('05) 健康科学('05) 経営システムⅠ('06) 社会心理学特論('05)	総合人間学('06) 福祉政策Ⅰ('06) 人間情報科学とeラーニング('06) 複雑システム科学('07) 複雑システム科学('02)
5 14:25 } 15:15	日本文化研究('05) 経営システムⅡ('05) 教育経営論('04) 家族心理学特論('06)	物質環境科学Ⅰ('05) 福祉政策Ⅱ('06) 才能教育論('06) 言語文化研究Ⅰ('07) 言語文化研究Ⅰ('02)
6 15:35 } 16:25	言語文化研究Ⅱ('05) 経済政策Ⅰ('05) 精神医学('06) 学校システム論('07) 学校システム論('02)	文化人類学研究('05) 地球環境科学('05) 法システムⅠ('06) 逸脱行動論('06) 国際政治('07)
7 16:45 } 17:35	EU論('06) 地方自治政策Ⅰ('05) 教育課程編成論('06) 認知行動科学('06) 法システムⅡ('07)	表象文化研究('06) 教育文化論('05) 臨床心理学特論('05)
8 17:55 } 18:45	情報化社会研究('05) 物質環境科学Ⅱ('03) 経済政策Ⅱ('05) 認知過程研究('07) 認知過程研究('02)	国際社会研究Ⅰ('05) 生命環境科学Ⅱ('06) 法システムⅢ('06) 学校臨床社会学('07) 臨床心理面接特論('07) 学校臨床社会学('03) 臨床心理面接特論('02)

曜日 時限	平成20年1月25日(金)	平成20年1月26日(土)
1 9:15 } 10:05	国際社会研究Ⅰ('05) 生命環境科学Ⅱ('06) 法システムⅢ('06) 学校臨床社会学('07) 臨床心理面接特論('07)	情報化社会研究('05) 物質環境科学Ⅱ('03) 経済政策Ⅱ('05) 認知過程研究('07)
2 10:25 } 11:15	地域文化研究Ⅰ('06) 技術社会関係論('04) 臨床心理学研究法特論('06) 市民性形成論('07)	生活科学Ⅰ('05) 地方自治政策Ⅱ('04) 教授・学習課程論('06) 国際社会研究Ⅱ('07) 環境工学('07)
3 11:35 } 12:25	地域文化研究Ⅱ('06) 生活科学Ⅱ('06) 環境マネジメント('06) 発達心理学特論('07)	言語文化研究Ⅲ('05) 数理システム科学('05) 芸術文化政策Ⅰ('02) 臨床心理地域援助特論('07)
4 13:15 } 14:05	総合情報学('06) 情報システム科学('06) 生涯学習論('06) 文化政策の展開('07)	生命環境科学Ⅰ('05) 都市デザイン論('06) 学校臨床心理学('05) 地域文化研究Ⅲ('07)
5 14:25 } 15:15	総合人間学('06) 福祉政策Ⅰ('06) 人間情報科学とeラーニング('06) 複雑システム科学('07)	比較文化研究('05) 健康科学('05) 経営システムⅠ('06) 社会心理学特論('05)
6 15:35 } 16:25	物質環境科学Ⅰ('05) 福祉政策Ⅱ('06) 才能教育論('06) 言語文化研究Ⅰ('07)	日本文化研究('05) 経営システムⅡ('05) 教育経営論('04) 家族心理学特論('06)
7 16:45 } 17:35	文化人類学研究('05) 地球環境科学('05) 法システムⅠ('06) 逸脱行動論('06) 国際政治('07)	言語文化研究Ⅱ('05) 経済政策Ⅰ('05) 精神医学('06) 学校システム論('07)
8 17:55 } 18:45	表象文化研究('06) 教育文化論('05) 臨床心理学特論('05)	EU論('06) 地方自治政策Ⅰ('05) 教育課程編成論('06) 認知行動科学('06) 法システムⅡ('07)

例 認知過程研究('02) ……平成18年度末での閉講科目です。再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。

(第1学期から) 平成19年度学部開設・改訂科目一覧

専攻等	科目名	単位数	メディア	氏名	現職	備考
人文系	精神分析入門(07)	2	R	牛島 定信	東京女子大学教授	
	基礎教育学(07)	2	R	江原 武一	立命館大学教授	
				山崎 高哉	佛教大学教授	
	現代を生きる哲学(07)	2	R	佐藤 康邦	放送大学教授	
	音楽理論の基礎(07)	2	TV	笠原 潔	放送大学助教授	
				徳丸 吉彦	放送大学教授	
	博物館概論(07)	2	TV	佐々木 利和	国立民族学博物館教授	
				松原 茂	東京国立博物館上席研究員	
				原田 一敏	東京国立博物館上席研究員	
	コミュニケーション論序説(07)	2	R	大橋 理枝	放送大学助教授	
				根橋 玲子	明治大学助教授	
	こころとからだ(07)	2	R	岩永 雅也	放送大学教授	
				滝口 俊子	放送大学教授	
				佐藤 禮子	放送大学教授	
	日本語表現法(07)	2	R	杉浦 克己	放送大学助教授	
	世界の名作を読む(07)	2	R	工藤 庸子	放送大学教授	
大石 和欣				放送大学助教授		
人類の歴史・地球の現在(07)	2	TV	本多 俊和(スチュアート ヘンリ)	放送大学教授		
			棚橋 訓	お茶の水女子大学教授		
			三尾 裕子	東京外国語大学助教授		
社会科学系	政治学入門(07)	2	TV	小林 良彰	慶應義塾大学教授	
				河野 武司	慶應義塾大学教授	
				山岡 龍一	放送大学助教授	
	経済社会の考え方(07)	2	R	坂井 素思	放送大学助教授	
	住まい学入門(07)	2	TV	本間 博文	放送大学教授	
	経営学入門(07)	2	R	佐々木 弘	神戸大学名誉教授	
				奥林 康司	摂南大学教授	
	現代の生活問題(07)	2	R	原田 順子	放送大学助教授	
				中川 清	同志社大学教授	
	社会統計学(07)	2	R	片瀬 一男	東北学院大学教授	
生活とリスク(07)	2	R	奈良 由美子	放送大学助教授		
市民と社会を考えるために(07)	2	R	天川 晃	放送大学教授		
			高木 保興	放送大学教授		
			浅川 達人	明治学院大学教授		
情報科学の基礎(07)	2	TV	川合 慧	東京大学大学院教授		
物理の世界(07)	2	TV	生井澤 寛	放送大学教授	「物理の世界(03)」の単位修得者は履修不可	
			波田野 彰	神奈川大学教授		
生物集団と地球環境(07)	2	TV	小形 正男	東京大学大学院助教授		
			松本 忠夫	放送大学教授		
疾病の回復を促進する薬(07)	2	TV	福田 正己	北海道大学教授		
			川原 礼子	東北大学教授		
			片野 由美	山形大学教授		
惑星地球の進化(07)	2	TV	仙波 純一	放送大学教授		
			松本 良	東京大学大学院教授		
			浦辺 徹郎	東京大学大学院教授		
				田近 英一	東京大学大学院助教授	

注1) は基礎科目を、\*は総合科目を示します。  
注2) 平成19年4月より「助教授」が「准教授」に変更となります。

専攻等	科目名	単位数	メディア	氏名	現職	備考
自然科学系	数学再入門(07)	2	TV	長岡 亮介	放送大学教授	
	身近な統計(07)	2	TV	熊原 啓作	放送大学教授	
				渡辺 美智子	東洋大学教授	
	物理の考え方(07)	2	TV	木村 龍治	放送大学教授	
				大石 和欣	放送大学助教授	
	科学的な見方・考え方(07)	2	R	濱田 嘉昭	放送大学教授	
	エネルギー学の基礎(07)	2	TV	吉岡 一男	放送大学助教授	
				林 敏彦	放送大学教授	
	物質循環と人間活動(07)	2	TV	東 千秋	放送大学教授	
				鈴木 基之	放送大学教授	
				濱田 嘉昭	放送大学教授	
	かしこくなる患者学(07)	2	R	高柳 和江	日本医科大学助教授	
				仙波 純一	放送大学教授	
	英語総合B(07)	2	R	草光 俊雄	放送大学教授	
				ティモシー・ハリス	上野学園大学助教授	
	スペイン語入門(07)	2	R	立岩 礼子	京都外国語短期大学助教授	
丸田 千花子				慶應義塾大学非常勤講師		
マリア・ホセ・ゴンサレス・ムニョス				関西大学特任外国語講師		
スペイン語入門(07)	2	R	丸田 千花子	慶應義塾大学非常勤講師		
			久野 量一	法政大学助教授		
日本語基礎B(07)	2	R	サンドラ・モラーレス・ムニョス	日本大学非常勤講師		
			姫野 昌子	放送大学教授		
生活と福祉	リハビリテーション(07)	2	R	伊東 祐郎	東京外国語大学教授	
				里宇 明元	慶應義塾大学教授	
	少子化時代の児童福祉(07)	2	R	佐藤 禮子	放送大学教授	
				松原 康雄	明治学院大学教授	
	高齢期を支える社会福祉システム(07)	2	TV	栃本 一三郎	上智大学教授	
				浅野 仁	関西学院大学教授	
	身体福祉論(07)	2	TV	宮下 充正	放送大学教授	
				臼井 永男	放送大学助教授	
	欧米の社会福祉(07)*	2	TV	松村 祥子	放送大学教授	
	変動する社会と暮らし(07)*	2	R	藤原 康晴	放送大学教授	
感情の心理学(07)	2	R	中谷 延二	放送大学教授		
			高橋 恵子	聖心女子大学教授		
			河合 優年	武庫川女子大学教授		
教育社会学(07)	2	TV	仲 真紀子	北海道大学大学院教授		
			岩永 雅也	放送大学教授	「教育社会学(03)」「教育社会学(08)」の単位修得者は履修不可	
転換期の教師(07)	2	R	稲垣 恭子	京都大学大学院教授		
			油布 佐和子	福岡教育大学教授		
特別支援教育総論(07)	2	R	大南 英明	帝京大学教授		
			宮崎 英憲	東洋大学教授		
乳幼児・児童の心理臨床(07)	2	TV	木船 憲幸	福岡教育大学教授		
			滝口 俊子	放送大学教授		
進化と人間行動(07)*	2	TV	長谷川 真理子	総合研究大学院大学教授		
			長谷川 寿一	東京大学大学院教授		

注1) は基礎科目を、\*は総合科目を示します。  
注2) 平成19年4月より「助教授」が「准教授」に変更となります。

(第1学期から) **平成19年度大学院開設・改訂科目一覧**

専攻等	科目名	単位数	メディア	氏名	現職	備考	
専門科目	社会と経済	企業の組織・取引と法(07)	2	R	布井 千博 福原 紀彦	一橋大学大学院教授 中央大学大学院教授	
		現代日本の政治(07)	2	R	久米 郁男 田中 愛治 河野 勝	早稲田大学教授 早稲田大学教授 早稲田大学教授	
		日本政治外交史(07)	2	TV	天川 晃 御厨 貴 牧原 出	放送大学教授 東京大学教授 東北大学大学院教授	
		消費者と証券投資(07)*	2	TV	林 敏彦 坂井 素思 佐賀 卓雄	放送大学教授 放送大学助教授 日本証券経済研究所主任研究員	
		途上国の開発(07)*	2	TV	高木 保興 河合 明宣	放送大学教授 放送大学教授	
		企業統治と企業倫理(07)	2	TV	吉森 賢	放送大学教授	
	産業と技術	NPOマネジメント(07)	2	R	河合 明宣 齋藤 正章	放送大学教授 放送大学助教授	
		社会技術概論(07)	2	TV	小林 信一 小林 傳司 藤垣 裕子	筑波大学大学院教授 大阪大学教授 東京大学大学院助教授	
		日本のマスメディア(07)*	2	R	柏倉 康夫 佐藤 卓己 小室 広佐子	放送大学副学長 京都大学大学院助教授 東京国際大学助教授	
		日本語基礎B(07) -コミュニケーションと異文化理解-	2	R	姫野 昌子 伊東 祐郎	放送大学教授 東京外国語大学教授	
	人間の探究	日本の中世(07)	2	TV	五味 文彦 本郷 和人 中島 圭一	放送大学教授 東京大学大学院助教授 慶應義塾大学助教授	
		日本の近世(07)	2	R	杉森 哲也	放送大学助教授	
		中国社会の歴史的展開(07)	2	R	岸本 美緒	東京大学教授	
		資源人類学(07)	2	TV	内堀 基光 菅原 和孝 印東 道子	放送大学教授 京都大学大学院教授 国立民族学博物館教授	
		自然と社会を貫く数学(07)	2	R	岡本 和夫	東京大学大学院教授	
	自然の理解	分析によって知る世界(07)	2	TV	中村 洋	東京理科大学教授	
		細胞生物学(07)	2	TV	森 正敬 永田 和宏 河野 憲二	崇城大学教授 京都大学教授 奈良先端科学技術大学院大学教授	「細胞生物学(03)」 の単位修得者は履修不可

注1) は基礎科目を、\*は総合科目を示します。  
注2) 平成19年4月より「助教授」が「准教授」に変更となります。

(第2学期から)

専攻等	科目名	単位数	メディア	氏名	現職	備考
専門科目	社会と経済 雇用・福祉・家族と法(07)	2	TV	中嶋 土元也 堀 勝洋 大村 敦志	放送大学教授 上智大学教授 東京大学教授	

プログラム等	科目名	単位数	メディア	氏名	現職	備考	
総合文化プログラム 文化情報科学群	言語文化研究(07)	2	R	長島 弘明	東京大学大学院教授		
	地域文化研究(07)	2	TV	草光 俊雄	放送大学教授		
				宮下 志朗	東京大学大学院教授		
	国際社会研究(07)	2	R	山田 辰雄	放送大学教授	「国際社会研究(02)」 の単位修得者は履修不可	
国際政治(07)	2	TV	藤原 帰一	東京大学大学院教授			
総合文化プログラム 環境システム科学群	複雑システム科学(07)	2	TV	生井澤 寛	放送大学教授		
	政策経営プログラム	文化政策の展開(07)	2	R	根木 昭	東京芸術大学教授	
		法システム(07)	2	TV	広渡 清吾	東京大学教授	
環境工学(07)	2	TV	鈴木 基之	放送大学教授			
教育開発プログラム	学校システム論(07)	2	TV	竹内 洋	関西大学教授	「学校システム論(02)」 の単位修得者は履修不可	
	認知過程研究(07)	2	R	稲垣 佳世子	千葉大学教授		
				鈴木 宏昭	青山学院大学教授	「認知過程研究(02)」の単位修得者は履修不可	
				大浦 容子	新潟大学教授		
	学校臨床社会学(07)	2	R	酒井 朗	お茶の水女子大学教授		
	発達心理学特論(07)	2	TV	内田 伸子	お茶の水女子大学大学院教授	「発達心理学(02)」 の単位修得者は履修不可	
				氏家 達夫	名古屋大学教授		
市民性形成論(07)	2	R	二宮 皓	広島大学副学長			
臨床心理プログラム	臨床心理面接特論(07)	4	R	大場 登	放送大学教授		
				小野 けい子	放送大学教授		
	発達心理学特論(07)	2	TV	内田 伸子	お茶の水女子大学大学院教授	「発達心理学(02)」 の単位修得者は履修不可	
氏家 達夫				名古屋大学教授			
臨床心理地域援助特論(07)	2	R	箕口 雅博	立教大学教授			

注1) は教育開発プログラムと臨床心理プログラムに共通する科目を示します。  
注2) 平成19年4月より「助教授」が「准教授」に変更となります。  
注3) 「世界の芸術文化政策(07)」については、都合により、平成19年度第1学期からの開設を中止し、代わりに「芸術文化政策(02)」を引き続き開講することとなりました。詳細については、科目登録申請要項同封のお知らせや大学ホームページをご覧ください。

## 広島学習センター

- 多様な学習ニーズに応えるセンターを目指して -

広島学習センターは、JR広島駅から約4kmの広島大学東千田キャンパス内にあります。ここは、かつて特色ある高等教育機関として発展した旧広島高等師範学校が置かれていたところでした。平成2年に放送大学広島ビデオ学習センターとして設置され、その後平成10年からは広島学習センターと改名され中国地方の拠点学習センターとなりました。平成12年には広島大学と放送大学との合築棟（東千田総合校舎）が新築され、その3、4階が現在のセンターです。さらに平成13年には東部地区の福山にサテライトスペース（以下SSという）が設置されました。

本学習センターでは、福山SSを含め現在約2,000名の幅広い年齢層、様々な職業の方々が勉学に励んでおられます。客員教員も11名を擁しており、全員が毎月1回の特別講座（学生以外の参加も可）を実施し、学生の勉学意欲の向上や放送大学の認知度アップに貢献しています。また、福山SSは、2年後にはJR福山駅近くに建設中の福山市中央図書館（仮称）の3階に移転予定で、立地に恵まれた「学びの拠点」としてその利用が今から期待されています。

放送大学の利用者のニーズは多様化しており、

広島学習センター所長 齊藤 公男

また新しい技術を用いた類似の遠隔教育システムが現れるなど、選択の幅はますます広がっています。本学習センターにおいても、利用者の学習ニーズを的確にとらえ、放送大学の持つシーズとの円滑なマッチングを行い、放送大学の発展に寄与したいと考えています。最近の学校教育法等の一部改正に当たっては、特別支援学校免許取得のための放送大学の活用についてその効果的な広報活動に取り組んでいく所存です。

今後も皆さんに大いに利用していただける学習センターを目指して努力したいと思っています。



## 長野学習センター

- 「長野市再視聴室」が開設されました -

長野県は南北に長く、長野学習センターのある諏訪地域はその真ん中に位置してはいますが、県内在籍の学生の皆さんにとっては便利とは言えません。そのために以前から、北信地域の長野市にサテライト・オフィス設置の要望が長野市や在籍学生の皆さんから出されていました。平成18年度秋にその要望実現の前段階として、センター外再視聴室設置が認められました。場所は長野市再開



発複合施設内の長野市生涯学習センターの一角です。以前の視聴学習室と違って、定期試験の実施や面接授業・公開授業の開講も可能になります。在籍学生の皆さんへのサービスの一環として、もう一つ今年から試行的ではありますが、宅配便による再視聴テープの貸し出しを実現しました。身分証のコピーを付けてのファックスによる申し込み、受取人払いによる宅配便の利用という面倒さはありませんが、本人が学習センターに直接来なくても済むという簡便さは地方の学習センターに所属する学生の皆さんにとっては時間の節約にもなり、これまでよりはいくらかでも便利になるのではないのでしょうか。所属する学生の皆さん全員に公平なサービスを、とまではいきませんが、できるところから実行していきたいと職員一同努力しています。来年は長野学習センター開設20年の節目を迎えます。さらにより良い学習環境が整うことを期待しています。

長野学習センター所長 沖野外 輝夫

## 現場から出発して歩む研究の推進

生活と福祉 教授 多田 羅 浩三  
総合文化プログラム（環境システム科学群）



イギリスという国は、かつては世界の7つの海を支配し、日の沈むことのない国といわれた、偉大な国であります。そこには女王がいて、ロンドンがあります。中央があって、地方があります。オックスフォードがあって、ケンブリッジがあります。医師がいて、看護師がいます。常に二つの中心があって、絶対ではない相対の世界、楕円の世界が築かれてきました。二つの

中心があって、ジグザグに歩んできました。イギリスの歴史は、そのジグザグのところ、あまりにも教訓に満ちています。

公衆衛生の制度は、周知のとおり、このイギリスに1848年の公衆衛生法によって、自治体の担う機能として生まれました。それ故、公衆衛生の研究をするということは、主に自治体が行う事業の成果をフォローし、記録し、分析し、特徴を明らかにすることだと思っています。幸い、私が大阪大学に在任中は、多くの市町村の国民健康保険制度や保健事業の実績について勉強させていただくことができました。

放送大学に移ってからは、直

接、市町村の人たちと一緒に仕事をすることが難しくなりました。しかし、放送大学の学生は現場で仕事をしながら、勉強している人たちなので、自分らの現場の仕事の実績をもとに卒業研究や修士論文の作成を目指す学生が沢山、部屋を訪れてくれるのは嬉しい。しかも、みんな、素晴らしい論文を完成しています。

自分の現場を大事にし、その現実から出発し、固有の知見を見出すこと、そこにこそ放送大学の学生の皆さんの貴重な研究の道筋があると思います。私の研究室は、そのような研究活動の拠点でありたいと思っています。

## 美しい日本の「まちづくり」を目指して

産業と技術 教授 香山 壽夫  
政策経営プログラム



私の専門とする分野は、建築の設計、そしてさらに、建築の集合体である都市の設計です。あるいはさらに、建築・都市と常に共にある自然環境の計画・デザインです。

日本は、美しく豊かな自然に恵まれた国です。そしてその恵まれた自然の上に、歴史を重ねながら、世界に誇るべき美しい建築と都市を築き上げてきまし

た。しかし、その美しい日本の山や川、そして町や村は、今日、醜く、混乱し、安らぎも落ち着きもないものになりつつあります。いったいこれは、どういうことなのでしょう？ どうしたらいいのでしょうか。これが、今の私の中心テーマです。

私の研究室には、同じ問題意識を持つ人々が、修士研究、あるいは卒業研究のために南は九州、北は北海道から集まっています。その年令も20代から70代まで様々です。そしてその専門、経歴も様々です。私と同じく建築の設計を専門とする人

もいれば、中央省庁や地方自治体で、土木や建築の行政にたずさわっている人もいます。自分の住む町や地域のまちづくりの住民活動を行っている人もいれば、自然を愛し、その保護運動を進めようとしている人もいます。あるいは又、長年建築の美しさに魅かれ、日本各地そして世界のあちこちの都市を訪れ、それを論文にまとめようとしている人もいます。

そうした様々な立場からの研究が、日本を美しい国につくり直すことに役立つこと、それが私の研究室の願いです。

# 放送大学附属図書館所蔵コレクション展 『古写真とちりめん本 - 海を渡った日本の文化 - 』を開催

附属図書館所蔵のコレクションの中から、幕末から明治にかけて撮影された古写真約100点と、明治時代に誕生した多色木版刷絵本のちりめん本を、香川県と熊本県にて展示します。

わが国に本格的写真技術をもたらしたF. ベアトの作品を始めとした、揺籃期の邦人写真師たちの古写真や、日本昔噺、挿絵入り暦などを和紙に刷り独特のちりめん加工を施したちりめん本は、外国人がお土産として持ち帰るなどして、当時の日本の生活と文化を欧米に伝える役割を果たしました。現在の私たちにとっても、幕末・明治の日本の姿を知る貴重な資料となっています。多数の皆様のご来場をお待ちしています。

**放送大学**  
放送大学附属図書館所蔵コレクション展  
古写真とちりめん本  
海を渡った日本の文化

主催 放送大学附属図書館 Tel.043-298-4298  
放送大学茨城学習センター Tel.029-228-0683  
放送大学香川学習センター Tel.087-837-9877  
放送大学熊本学習センター Tel.096-341-0860  
共催 茨城県立図書館 後援 香川県教育委員会

日時・会場  
茨城会場 平成18年10月24日(火)～29日(日) 午前9時～午後8時  
香川会場 平成19年1月10日(水)～14日(日) 午前9時～午後7時  
熊本会場 平成19年1月20日(土)～21日(日) 午前10時～午後6時

小泉八雲のちりめん本



古写真「飛脚」



古写真「小田原」



## < 香川会場 >

日時：平成19年1月10日(水)～14日(日)  
午前9時～午後7時(13日は午後5時、14日は午後4時まで)  
会場：香川県立図書館1階県民ギャラリー

詳しくは附属図書館ホームページをご覧ください。

## < 熊本会場 >

日時：平成19年1月20日(土)～21日(日)  
午前10時～午後6時  
会場：びふれす熊日会館びふれす広場

## 教務のお知らせ

コンビニでも学費納付ができるようになります  
(平成19年度第1学期分から)

### 学費の納入方法変更のお知らせ

コンビニエンスストアでの学費納入を開始します。  
一部の郵便局に設置されている払込取扱票を読み取る機能のついたATMからの現金払込みをご利用いただけます。  
(平成19年度第1学期分の学費から対象)

### 変更後の学費納入方法 1

1. 銀行、信用金庫等の金融機関の窓口での現金払込み 2
  2. 郵便局(窓口及び一部のATM)での現金払込み 3
  3. コンビニエンスストアでの払込み 4
- 詳細につきましては科目登録終了後に送付いたします払込取扱票(振込通知票)に記載されていますので学費払込み前に必ずご確認ください。

### 窓口での本人確認について

平成19年1月から、金融庁の送金規制により、10万円を超える振込みについては金融機関・郵便局の窓口での本人確認が必要となりますので、詳しくは払込みを行う金融機関等にご確認ください。

- 1 学費の納入金額に応じて、別途払込手数料が必要となりますのでご了承ください。
- 2 従来開設していた学費払込指定口座(銀行)は数を縮減し、みずほ銀行のみとなります。
- 3 郵便局ATMからの学費払込みは、通常払込みのみご利用いただけます。電信払込みで送金されますと学費の払込みが確認できません。
- 4 コンビニエンスストアでの払込み額は、30万円までに制限されています。納入を行う学費の合計が30万を超える方につきましては、ご面倒をおかけいたしますが、金融機関又は郵便局をご利用ください。

## 長野市にランチ試験場を開設

平成19年度第1学期から長野市に単位認定試験会場(「長野ランチ試験場」)を開設します。  
長野ランチ試験場で受験を希望される方は、下記のとおり手続きをしてください。

### 記

次学期(19年度第1学期)学籍のある在学生の方

「学生生活の菜」巻末の「単位認定試験受験センター変更願」により、  
学習センターコード記入欄に『80H 長野』と記入のうえ、平成19年4月1日から5月31日までに提出してください。

新規・継続・再入学の方

出願票の単位認定試験受験センター等コード記入欄に『80H 長野』と記入ください。詳しくは、「学生募集要項」を参照ください。

開場場所

長野市生涯学習センター内

住所：長野市大字鶴賀間御所町1271番地3 「TOIGO(トイゴ)3,4F」(JR長野駅下車徒歩約10分)

## 大学院授業科目の開設中止について

「世界の芸術文化政策(07)」については、都合により、平成19年度第1学期からの開設を中止し、代わりに「芸術文化政策(02)」を引き続き開講することとなりました。  
詳細については、科目登録申請要項同封のお知らせや大学ホームページをご覧ください。

## 「基礎科目」及び「総合科目」について

本学では平成21年度から、より一層バランスのとれた科目を提供するため、新しいカリキュラム体系に移行する準備を進めています。これまでの「共通科目」と「専門科目」といった科目の大分類に、「基礎科目」と「総合科目」が新たに加わります。

平成21年度から「基礎科目」と「総合科目」に区分される予定の科目のうち、いくつかのものは、平成19年度、平成20年度2カ年は、「基礎科目」「総合科目」という名称で提供されますが、卒業要件との関係では、平成20年度までは、「基礎科目」は「共通科目」「総合科目」は「専門科目」として取り扱われます。

なお、「基礎科目」は、大学教育を受けるに当たって、専門分野に関わらず必要となる基礎を習得すること、「総合科目」は複数の専門分野にわたる現代社会の複合的問題について考えることを目標とします。

各科目の詳細については、「授業科目案内」又は本学ホームページをご覧ください。

## 学生募集—教養学部学生及び大学院修士選科生・修士科目生

放送大学教養学部・大学院文化科学研究科では、平成19年度第1学期の学生募集を以下のとおり行います。

- 平成18年11月15日(水)・・・学生募集要項配布開始
- 平成18年12月15日(金)～平成19年2月15日(木)・・・出願受付(教養学部学生・修士選科生・修士科目生)
- 2月上旬～3月中旬・・・合格通知・授業料納付書等発送
- 2月上旬～3月14日(水)・・・学費の納入期間
- 2月中旬～4月上旬・・・入学許可通知・印刷教材等の配送
- 4月1日(日)・・・平成19年度第1学期授業開始

- ・放送大学は、平成19年4月1日から始まる新学期の学生募集を行います。
- ・募集要項(出願書類を含む)は、各地の学習センター、大学本部などで直接配布しているほか、郵送(ハガキ)や放送大学のホームページからも請求できますので、ご利用ください。

### ＜募集要項・送料は無料です＞

・この機会に放送大学に関心をお持ちのご友人、ご親戚他お知り合いの方にご紹介いただき、入学をお薦めくださいますようお願いいたします。また、平成19年3月末で学籍の切れる方が、平成19年度第1学期以降も引き続き学習を希望される場合は、改めて入学手続きが必要です。なお、その際は入学金が割引になります。

※修士の学位取得を目指す「大学院修士全科生」の学生募集(年1回)は終了しました。

出願締切日は平成19年2月15日(木)＜必着＞です。

**募集要項請求専用フリーダイヤル 0120-864-600**

## 平成19年度第1学期の科目登録申請について

次学期も引き続き学籍のある在学学生を対象に「平成19年度第1学期科目登録申請要項」を1月上旬に送付します。

平成19年度第1学期の放送授業及び面接授業(毎週型・土日型)の科目登録申請期間は次のとおりです。

### 申請期間

**平成19年1月26日(金) [消印]～平成19年2月9日(金) [必着]**

※1月中旬になっても科目登録申請要項が未着の場合、あるいは紛失した場合は、大学本部もしくは各学習センターにお問い合わせください。  
詳しくは「学生生活の葉」をご覧ください。

## 第2学期面接授業(集中型)の追加科目登録

2月に行われる第2学期面接授業(集中型)について、空席がある科目は追加科目登録をすることができます。登録日程等下記をご確認いただき、どうぞこの機会に面接授業にご参加ください。

**空席発表日：平成18年12月22日(金)**

**登録受付期間：平成19年1月13日(土)～1月17日(水)**

空席のある全てのクラスが登録受付対象となります。

空席状況(追加登録の対象科目)は、発表日以降各学習センターの掲示・キャンパスネットワークホームページ(<https://www.campus.u-air.ac.jp/u-air/>)でお知らせします。受講したい科目をご確認の上、登録受付期間内に、当該科目を開講する学習センター・サテライトスペースの窓口へ直接お越しください。  
※登録の際は必ず、学生証(コピーは不可)・授業料をご持参ください。  
※登録受付の方法等詳しくは、当該科目を開講する学習センター・サテライトスペースへお問い合わせください。

## 平成18年度放送大学学位記授与式について

平成18年度学位記授与式の日程が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

**日時：平成19年3月24日(土) 午前11時00分から**

**場所：NHKホール(東京都渋谷区神南2-2-1)**

なお、宿泊についてはJT B団体旅行千葉支店でも取り扱っています。  
詳細は、JT B団体旅行千葉支店のホームページの「放送大学学位記授与式」の項目をご覧ください。  
<http://www.jtb.co.jp/shop/danchiba/>

## 編集後記

健康にはかなり自信があったのだが、特に何もしないのにある日突然腰痛になってしまった。医者は「老化ですね」の一言。老化とは、要するに背骨を支えている腹筋や背筋が弱ってきているのだそうである。それ以来、週二回ほど近所のスポーツセンターに行って、軽い筋トレを始めた。それから二年余になるが、幸いにしてそれ以後、深刻な腰痛は発生していない。さらに、ゆっくりと体重、脂肪率、ウェスト周りが減り出した。面白いことに、ちょっとサボると、諸数字がすぐ悪くなる。簡単に悪くなるくせに、それらを戻すのは容易ではない。まるで勉強のようである。皆さんも日々の勉学に辛くなることもあるだろうが、ゆっくり確実に進めていただきたい。

(岡部洋一)

## 大学通信編集委員会

(平成18年度)

委員長	教授	杉本大一郎
副委員長	〃	滝口俊子
委員	〃	中谷延二
	〃	岡部洋一
	〃	助教授 坂井素思
	〃	〃 杉浦克己
	〃	〃 大橋理枝
	〃	〃 隈部正博

(編集事務担当  
教務部学生サービス課)

ご意見やご感想をお聞かせ下さい。  
[editor@u-air.ac.jp](mailto:editor@u-air.ac.jp)



# 放送大学

<http://www.u-air.ac.jp/>

ISSN 1343-3369

R100